



立川市民オペラ公演 2015 歌劇「愛の妙薬」

2015年3月14日(土)、15日(日) たましんRISURUホール(立川市市民会館)大ホール



だんだんと涼しくなりましたが、サポーターの皆様はいかがお過ごしでしょうか。音楽稽古も始まり、いよいよ立川の「愛の妙薬」の原型が見えてきました。9月19日(金)には佐川吉男音楽賞の授賞式があり、佐藤会長はじめ4名が出席いたしました。また、チケットについての詳細も決定しましたので、お知らせいたします。



↑受賞の関西二期会、立川市民オペラの会と佐川吉男音楽賞実行委員会

↓賞状を受け取る佐藤会長



立川オペラ愛好会より

立川オペラ愛好会は、9月17日(水)午後7時からアイムホールで、国立音大大学院オペラ公演【フィガロの結婚】のレクチャー会を開催しました。講師は公演で演出を担当する中村敬一先生。また公演で伯爵夫人・スザンナ・伯爵役の大学院生も出演し、楽しいレクチャーコンサートになりました。

オペラ合唱団より

10月から「愛の妙薬」の立ち稽古が始まります。現在、合唱団員は暗譜に必死になっています。音楽稽古で楽譜を持たずに歌い、どの程度覚えられたか試してみました。思いっきり間違えた方が、はっきり覚えられたりもします。あやふやな箇所をはっきりさせ、次回までに暗譜できるよう、各自が努力しているところです。8月は演出の澤田靖子先生の演技授業がありました。歩き方、喜怒哀楽の表現など、演技の基本を指導していただきました。自分の役にふさわしい名前を考える宿題が出ました。性格、職業、年齢も、事前に考えます。このオペラの時代、農村の結婚適齢期は女性が27、8歳で、男性もそれに釣合う年齢です。合唱団員はそのあたりや、もっと若い年齢の役です。実年齢は無視して、なりたい年齢を申告するわけです。実際よりかなり若い役を演じるのも、オペラの楽しみかもしれません。

『愛の妙薬』チケットについて

発売日、席種が決定いたしました。

発売日 11/14(金) **友の会先行** 11/12(水)

SS席:¥5,000 S席:¥3,000 A席:¥2,000 B席:¥1,000

- 親子割引(A・B席のみ):小中学生1名¥500
- ムーサ友の会:各席1割引

発売初日はお一人様10枚までご購入いただけます！
お誘い合わせの上、ふるってご来場くださいませ。

立川管弦楽団より

12月7日(日)ベートベンの第九を予定していますが、前プロはブルームスの大学祝典序曲に決まりました。新しい柴崎学習館のホールで練習を開始しています。

連載「知っている面白くなる」

今回は登場人物とストーリーの紹介です。ネモリーノは村の純朴な青年で、アディーナに憧れ、愚直に「愛の妙薬」の力を信じている。村娘アディーナもネモリーノが気になるが素直になれない。軍曹ベルコーレは部下を率い自信満々でアディーナに求婚。そしてインチキ薬売りドウルカマーラは安酒を「愛の妙薬」と偽り、ネモリーノに売りつける。このように話は展開しますが、ベルコーレがアディーナへ求婚したことにより、焦ったネモリーノはドウルカマーラから、さらに「愛の妙薬」を買ってしまう。さて「愛の妙薬」の効き目は...???

H・S